

通園運動会(中止になりました)

通園 運動会担当

10月17日(日曜日)は運動会の予定でしたが、雨天のため中止になってしまいました。

各クラスでいろいろなものを作り、前日にはテントの設営もし、子供たちとててる坊主を作って、「晴れますように！」とお願いしたのに……。当日は朝からポツポツと雨が降り始め、みんなが登園する時刻には、大雨でした。おまけに寒い～。なんてお天気だ～。という事で、通常の保育に変更になりました。



午前中は昨年からの継続児2クラス、さくら組・ゆり組の保育となりました。各クラスでご家族とスキンシップをした後、運動会の開会式で歌う予定だった「ガンバリマン」を歌ったり、「どうぶつ体操」をしたり、「ともだちのわお！」を踊りました。通園内ホールで、運動会の競技で披露するはずだった坂すべりをしたり、競技で使う予定だったUFO型の乗り物やトンネルを使って遊びました。運動会の競技のように一人ずつ名前を呼んでからスタート、少し運動会気分を味わい、みんな笑顔で楽しみました。

午後からは新入園児2クラス、たんぽぽ組・ちゅうりっぷ組の保育となり、各クラスでご家族とスキンシップの後、2クラス合同で、「ガンバリマン」を歌ってからホールで運動あそびをしました。競技で使う予定だったマット坂を何度も登ったり、スズランテープの海で泳いだり、魚を何個も探してビニールプールに入れたりしました。また、毛布ブランコではたくさん揺らしてもらい大喜びでした。たくさん身体を動かして遊び、お父さん、お母さんと笑顔で楽しいひとときを過ごしました。

ちょうどみんなが帰るころ、雨が止みました。今年は本当に残念でしたが、来年は青空の下、運動会が開催できることを祈っています。テントの設営等ご協力いただいた職員の皆様、ありがとうございました。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第526号 発行日 令和3年10月31日

☆ 第13回 府中療育センター祭特集 ☆

生活療育支援科 川手浩一

10月22日(金曜日)、23日(土曜日)に、「府中療育センター祭」(以下「センター祭」という。)を実施しました。今年も昨年に引き続き、未だ収束しない新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上での開催となり、地域の方の来訪やボランティアの方の協力、入所、通所のご家族の参加は残念ながら中止とさせていただきます。イベントスペースへの参加は、通園、通所、入所と部門ごとに参加時間を振り分けて、入所部門は更にフロアごとで時間帯を区切り、地域作業所等の外部出店(3店舗)にはシールドを設けました。新センターに移転しての2回目のセンター祭の様子をご報告いたします。

22日(金曜日)は生憎の雨でしたが、澁谷院長による館内放送での開会のあいさつから始まりました。お馴染みキャラクター『メタセこいやん』を先頭に、動物たちの着ぐるみを着てオリンピック選手に扮装した職員一行が、楽器を片手に各病棟内に繰り出して開会をアピールして、センター祭が始まるという雰囲気盛り上げました。

多目的ホールでは、恒例の舞台発表を大画面のビデオ映像により、くぬぎ分教室と1A病棟、通所の3部署の楽しい、心温まる素晴らしい作品が披露されました。くぬぎ分教室は『やさしさの木～みんなの想いを込めて～』というテーマで、荒れ果てた大地に大きな緑の木を見事な5人の児童・生徒のチームワークと頑張りで育てあげることができました。1A病棟は大ヒットした“Make You Happy”の曲に合わせて、楽しく賑やかに個性を発揮して踊り、通所は、オリンピックで一躍有名になったピクトグラムに挑戦し、通所の各場面を楽しく再現しました。どのビデオも「また、観たい」と思わせる力作でした。

また、今年も生での演奏が叶わなかった府中けやきの森学園の和太鼓部の皆さんが、コロナ禍で練習時間もなかなか取れない中、見事なリズムと動きで身体全身に響く素晴らしい勇壮な演奏をビデオに収めて披露してくださいました。

通園と通所を対象に、『PAN NOTE MAGIC』の皆さんが日本最高峰のスティールパン演奏を披露してくださいました。おなじみの名曲ばかりを南国風の音色を響かせた迫力ある独特な演奏に、利用者の皆さんは引き込まれるように熱心に聞いて、観ていらっしゃいました。



メタセこいやんと動物たち



府中けやきの森学園の和太鼓部の演奏



PAN NOTE MAGICのスティールパン演奏

☆ 第13回 府中療育センター祭特集 ☆



カジノセンター府中の様子



外部出店の様子



パラ*モルックの様子



オルゴールの展示

多目的ホール手前の各ブースも、各部署、各フロアの利用者の皆さんが短い時間でまわり切ろうとわくわくしながら、来場してきました。

食べ物コーナーは、事前にデリバリーで各病棟に配達されているため、ブース自体はこじんまりと設置されました。それでもお菓子や飲み物が並べてあると、あれもこれもとテイクアウトしていく利用者もいました。

ゲームコーナーは2つの部屋に分かれ、景品もたくさんあることから、時間いっぱいまで多くの利用者が列を作って、楽しみました。一つは『カジノセンター府中』。カードとダイスを使って、運の強さを競いました。もう一つは北欧生まれの木材で作った『パラ*モルック』です。今年の春からセンターに登場して好評を博しているゲームがセンター祭でも大人気となりました。利用者でも簡単にスキットル（的にぶつける木）を飛ばせる秘密の道具を使うと、高得点連発で、皆さん大いに盛り上がっていました。

今年は素晴らしい音色のディスクオルゴールや貴重な100弁シリンダーオルゴールなどをお借りできました。各病棟の会場に来られない利用者さんにディスクオルゴールの実演を2日間にわたってお届けしました。すべての病棟で心洗われる素晴らしい名品のオルゴールの音色に包まれ、大好評でした。

感覚刺激コーナーでは、テーマを『オリンピック・パラリンピック』として、『聖火ランナーになろう♪』、『五輪新競技サーフィンでは銀・銅のメダルを獲得！あの海を感じよう♪』と題した二つの部屋を設置し、五感で刺激を楽しめるようにしました。

全体制作物はイベントに先立って制作が始まり、完成品が展示されました。オリンピックのエンブレムを利用者の皆さんが楽しいメッセージで彩り素敵な作品に仕上がっていました。

感染対策で今年もシールラリーになりましたが難しい問題を解きながら、2階フロアの各所をめぐり、4枚のシールを集めるとオリンピックの聖火のイラストが完成します。たくさんの方が参加し、全問正解すると貰える景品のシールをいただきました。

展示スペースでは各病棟、部署が趣向を凝らした展示を発表しました。どれも力作ばかりですぐに撤去してはもったいないと11月2日まで展示期間としました。

ICT(院内感染制御チーム)による各部署の感染予防対策の取り組みのポスターがとても好評でした。また、摂食嚥下ワーキンググループによる役に立つ楽しいクイズは、参加した方が学びながら楽しんでいました。今回は認定看護師会が参加し、色々なことが学べる素晴らしいブースを設けていました。参加

また、コロナ禍の中、細心の注意を払って参加して下さった「食彩さしすせそ」「ワークセンターこむたん」「ギャロップ」の皆さんが作ったパンやコロッケ、プリン等は大人気で、お祭りの雰囲気大いに盛り上げていただきました。

23日(土曜日)は前日の雨もすっきりと上がり、秋晴れの中での開催となりました。

多目的ホールでは、入所フロアの各参加時間帯に、前日に引き続き『PAN NOTE MAGIC』の皆さんが日本最高峰のスティールパン演奏を合計3回披露してくださいました。迫力あるきらめくサウンドで心地よい楽しい演奏にそれぞれのフロアの利用者の方々は皆、久しぶりの生演奏ということもあり、身を乗り出して聞き入っていました。

土曜日にも「食彩さしすせそ」「こむたん」が出店し、祭を盛り上げてくださいました。

舞台に全病棟が集まれない状況のため、今年も22日に「人生の節目を祝う会」をそれぞれ対象の方の病棟へ院長が訪問する形式で実施しました。短い時間でしたが心をこめて、それぞれの方のこれまでとこれからに祝福とエールを送りました。今年のお祝いの対象者全15名は、展示スペースでも紹介されました。

展示の中に、『にこにこのたねたち』のキャラクターが紹介されていたのを見た方も多いと思います。今回のセンター祭を企画する中で50周年を記念して生まれた『にこにこのたねたち』の曲をモチーフにしたマスコットキャラクターを作ったらどうだろうかと考え、デザインを募集しました。何と26作品ものキャラクターが集まり、今回のセンター祭で発表しました。いろいろ個性的で可愛らしい素敵なキャラクターがそろい、これからセンターで大活躍するでしょう。

2日間のイベントは、楽しく賑やかなうちに滞りなく閉幕を迎え、伊藤副院長による「閉会のあいさつ」で締めくくりました。今年も新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営となってしまう、いつもとは一味違うセンター祭にはなりましたが「ディスタンスはありますが、心と心でつながって」、利用者の皆さん、職員が一緒になって、工夫し協力し合い、楽しい時間を作ることができました。感染防止対策に御理解、御協力いただいた御家族の皆様、地域作業所の皆様をはじめ、開催に当たり御配慮いただいたすべての皆様に感謝いたします。本当に来年こそは、地域の方へのお披露目も含め、開かれた府中療育センター祭を開催できることを心から願っています。皆様、ご支援、ご協力本当にありがとうございました。



聖火ランナーになろう♪の様子



認定看護師会による啓発コーナー



外部出店の様子



にこにこのたねたちの応募作品